事業概要シート

施策: 利便性の高い公共交通の確立

≪ ≫は、29年度の当初予算

事業名:	地域公共交通確保維持改善事業	拡充		予算額		21,535 千円
学 未石 ·	地域五六人通惟休惟村以告事未	カムノし				12, 017 ≫
			財	国庫支出金		7,246 千円
			源	県支出金		千円
				地方債		千円
			内 訳	その他		千円
				一般財源		14,289 千円

【事業の目的・概要・対象】

【目的】

日常生活に必要不可欠な交通手段の確保・維持等を長期的に実施する計画を策定することで、地域住民が安心して利用できる安全で利便性の高い生活交通を確保する。

【事業内容】

地域公共交通網形成計画に基づき、交通空白地域の解消をはじめ、各種市内公共交通の利便性の向上を 図る施策を実施する。

地域公共交通会議(関係する行政機関、バス事業者、公共交通利用者等で構成され、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客運送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項を協議する組織)及び大村市が主体となって、市内公共交通の再編を実施する。

【対象】地域公共交通の利用者

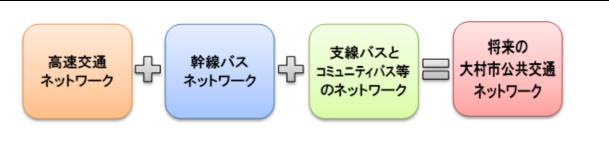
【その他】

平成28年3月に大村市における地域公共交通のあり方等を検討し、「大村市地域公共交通網形成計画」を策定しているが、この中でも大村市は新幹線開業、県立・大村市一体型図書館開館、木場スマートICの共用開始、池田沖田線整備などまちづくりの動きが活発になることから、これに合わせて公共交通ネットワークの再編が必要であるため、再編実施計画を平成31年度中に策定することとしている。この再編実施計画を作成するにあたり調査費用が必要である。

算定根拠:

国土交通省 地域公共交通確保維持改善事業 補助対象事業上限20,000千円の1/2

- ①対象路線の利用状況調査 (バス利用者調査、市民病院利用者ヒアリング等):3,000千円
- ②立地適正化計画による都市機能誘導区域に係る幹線バスネットワークの再編計画の検討:2,500千円
- ③循環型バス路線(新規路線)設置に向けた計画の検討:1,500千円
- ④幹線バス系統等の見直しに伴うフィーダー系統の再編計画の検討:1,000千円
- ⑤交通事業者とのワーキング検討:2,000千円
- ⑥再編実施計画(案)のとりまとめ:1,500千円
- ⑦報告書とりまとめ:1,500千円
- ⑧地域公共交通会議開催支援:1,000千円



【背景】

郊外や中山間地において、路線バスで対応しにくい公共交通空白地となっている地域では、地域の買い物や通院など日常生活の移動を支える交通手段が必要である。

担当課 産業振興部 商工振興課	問合せ先	0957-53-4111 (248)
-----------------	------	--------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
1	地域公共交通会議	目標値	回		2	2	2	2
2		目標値						

【成果指標】

	指標名			H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
(1	市内路線バス輸送人員	目標値	千人	1, 013	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000
2		目標値						

【予算・決算】

	升』						
年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費				12, 017	21, 535	21, 535	55, 087
国庫支出金					7, 246	7, 246	14, 492
県支出金							0
地方債							0
その他				12, 017			12, 017
一般財源					14, 289	14, 289	28, 578
人件費				2, 288	2, 288	2, 288	6, 864
職員				0.25人	0.25人	0.25人	0.75人
時間外勤務				50h	50h	50h	150h
嘱託員				0.20人	0.20人	0.20人	0.60人
フルコスト	0	0	Ö	14, 305	23, 823	23, 823	61, 951

妥当性 (市の関与)	市が策定した地域公共交通網形成計画に基づき市内公共交通の利便性の向上のための施策を実施するには、市が実施主体となることは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	交通空白地域の解消をはじめ、効率的で利便性の高い公共交通の再編は、地域住民に必要不可欠な交通手段の確保するための取り組みとして有効であり、施策の推進に貢献するものである。
効率性(コスト)	乗合いタクシー等の運行には、専用車両や専門資格を有する運転手が必要だが、市内タクシー業者を活用することで、必要最低限の経費に抑える。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり